

ISHII  
TSURUZO  
SCULPTURAL  
BEAUTY

サントミュージゼ  
UEDA SANTOMYUZE



石井鶴三  
立体の美

2018年1月4日(木)~2月12日(月)

雷試作 1957 (昭和32)年

〈開館時間〉 9:00~17:00(最終入場16:30)  
〈休館日〉 毎週火曜日  
〈観覧料〉 一般:300円 / 高校・大学生:200円 / 小・中学生:100円

主催: 上田市(上田市立美術館) / 上田市教育委員会

サントミュージゼ

上田市立美術館 Ueda City  
Museum of Art

〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15 TEL.0268-27-2300  
<https://www.santomyuze.com/>

# 石井鶴三 立体の美

「彫刻とは凸凹の妖怪(おばけ)である」—— 石井鶴三

46年もの間「上田彫塑講習会」の講師として指導・研究を重ね、信州の美術と教育に強い影響を及ぼした石井鶴三。その制作は多岐に渡り、彫刻・洋画・挿絵・版画など、これまでも高く評価されてきました。今回はその柱である彫刻にスポットを絞り、当館ならではの作品を中心に一挙に出展します。

「彫刻とは凸凹の妖怪(おばけ)である」と語る鶴三。すなわち「凸凹、高低、容量がつくる美の不思議。面と線、光と影の作る美しい姿。つまりは凸凹の美、形之美、立体の美。」

彫刻家・石井鶴三の作品からは、形の表面をなぞるのではなく、立体内部にひそむ精神的なもの、内的生命の表現を試みようという姿勢が感じられます。

「立体の美」追求の末に彼がたどり着いた成果、その渾身の作品の魅力に迫ります。



噴水盆試作  
1924(大正13)年



荒川嶽(頭部) 1911(明治44)年



相撲(五) 1940(昭和15)年



老婦相榻 1936(昭和11)年



風 1956(昭和31)年

©Keibunsha.Ltd.2017/JAA1700081

## ■石井鶴三 Profile

1887(明治20)年、東京で父(石井鼎湖)、兄(石井柏亭)という芸術家一家に生まれる。10歳で父が病死、親戚の養子となり、飼馬の立体的生命感に触れる。16歳で復籍して実家に戻り、小山正太郎の不同舎で絵画を、加藤景雲から木彫を学んだ。小山から「たんだ一本の線」(で描く)という生涯の指針を得る。1905(明治38)年に東京美術学校彫刻科に入学。1915(大正4)年には美術院研究所に入所し、彫刻の道を究めていく。制作活動は、彫刻・挿絵・油絵・版画・水彩・舞台美術制作と多岐にわたる。東京の自由学園で美術教師を12年、東京美術学校(現在の東京藝術大学)の教授を15年、信州上田での彫塑研究会講師を46年にわたって務めるなど教育者として果たした役割も大きい。

日本芸術院会員に任命されるとともに、法隆寺金堂や仁王像の修復指導、横綱審議委員、相撲博物館2代目館長など、85歳で亡くなるまで、多彩な分野に真摯に挑み続けた。

## ガイドツアー

Guided tour

学芸員が本展覧会をご案内します。

日 時 / 1月13日 日 13:30~、2月2日 日 18:30~

参加方法 / 展覧会観覧券をお求めください。

## トークイベント

Talk event

お 話 / 橋詰昌義(石井鶴三美術館元館長)、間島博徳(彫刻家 日展会員)

演 題 / 「石井鶴三の彫刻 近代彫刻史の流れと現代」

日 時 / 1月20日 日 13:30~(2時間程度)

会 場 / 美術館2F ホワイエ

定 員 / 先着30人

参加方法 / 展覧会観覧券をお求めください。

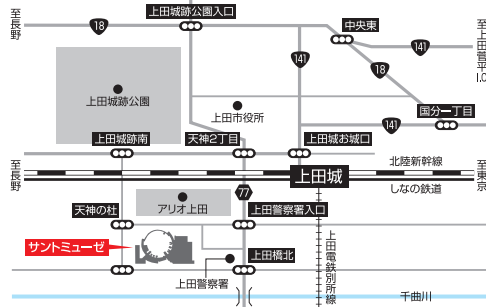
## ナイトミュージアム

Night museum

日 時 / 2月2日 日

内 容 / 美術館の開館時間を20:00まで延長します。(最終入館は19:30)

## ■アクセス Access



【電車】北陸新幹線、しなの鉄道、上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分  
【お車で】上信越自動車道「上田菅平J.C」から車で約15分



上田市立美術館 Ueda City Museum of Art

〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15 TEL.0268-27-2300 休館日：火曜日(祝日の場合は翌日)  
https://www.santomyuze.com/